

長い間、地元の人によって里山の木は炭や薪に、谷戸は田んぼや畑として利用されていましたが、昭和40年代以降社会の変化と共に使われなくなりました。

昭和30年代までこのような所にはたくさんの種類の生き物が生息し、生物多様性に富んだところでした。

人の手が入らなくなってやや少なくなったものの、ここには今では珍しくなった貴重な生き物がいろいろいます。

2015年、神奈川県自然保護協会が選ぶ県内生物多様性ホットスポットとして選定されました。

あつぎこどもの森公園憲章

私たち厚木市民は、「あつぎこどもの森公園」において、多くの生き物に恵まれた自然環境や里山の文化などの資源を守り、いかにしながら、遊んで学んで元気になれる自然体験活動を通じてたくましい子どもたちを育てる取組を推進するため、この憲章を定めます。

- ・ 私たちは、厚木市の生き物にとって重要な場所である「あつぎこどもの森公園」の自然環境を守り、育て、その大切さを伝えます。
- ・ 私たちは、里山の自然環境の特性をいかした様々な体験の機会を子どもたちに提供し、生きる力を育みます。
- ・ 私たちは、里山で継承されてきた農業や暮らしの知恵を伝承し、新たな里山の文化を育てます。

制作 ©あつぎこどもの森クラブ自然プロジェクトグループ 通巻67号

写真・図 吉田文雄・ナカノジュンゴ・横山克己・青砥航次

連絡先 あつぎこどもの森公園管理棟 046-210-3433

E-mail atugikodomonomorikurabu@gmail.com

HP: <https://atsugikodomonomori.com/>

スミレの秘密

2022年4月16日(土)



タチツボスミレ 吉田文雄

主催 あつぎこどもの森クラブ

知ってる？ スミレのこと

名前の由来

スミレの名前の由来には諸説ありますが、大工さんが使う墨入れ壺がスミレの距きょに似ているところからというのが有力なようです。

スミレの仲間には

茎のあるもの（タチツボスミレ、ツボスミレなど）と茎がなく地表から花や葉がでるもの（スミレ、アカネスミレなど）があります。

花が咲く時期は春だけではありません

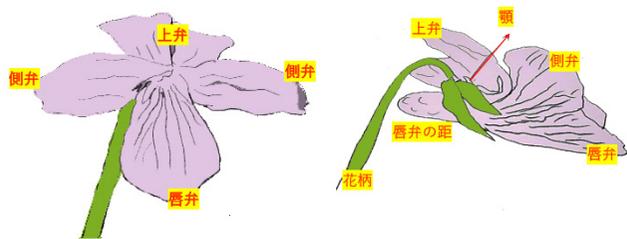
花には開放花と閉鎖花があり、目立つ開放花が終わったとも閉鎖花は咲き続け11月頃まで種を作り続けます。開放花の結実率はおよそ50%なのに閉鎖花では100%に近いのだそうです。

なぜ閉鎖花を作るのでしょうか（仮説）

- ① 閉花受精をすると、花卉や蜜を作らないですむので、最小のエネルギーで多くの種子を作れる。
- ② 地球が氷河期などの厳しい気候の時など、受粉の役目を果たす昆虫が少なくなったり、いなくなったりすれば、スミレは滅んでしまうから工夫しているのかもしれない。

※しかし閉花受精ばかり続けていると、同じ仲間ばかりになり、心配が生じる（遺伝的な多様性がなくなる）

スミレ識別のポイント



花の部分のなまえ



あつぎこどもの森公園で見られるスミレ 上から、タチツボスミレ、ツボスミレ、アカネスミレ



アカネスミレ
側弁の根元に毛がある

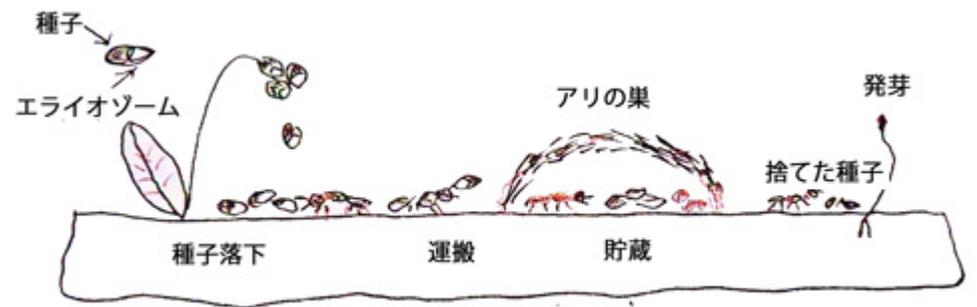
地上茎の有無、花卉の色、托葉の形、唇弁の距の形、根や地下茎の形などで見分けます。

種子散布の仕組み



飛ばした後 飛ばし初め

アリが種を運んでくれる



アリによる種子散布

鍵はエライオソーム

エライオソーム (Elaiosome)：種枕ともいい、スミレ、カタクリやケシ科の植物（クサノオウ、タケニグサなど）の種子に付属している柔軟な付属物。成分として脂肪酸、アミノ酸、糖などの化学物質が含まれていてアリが好みます。



最近のこどもの森公園 4月9日



モウソウチクのタケノコ



ヒメコウソウ



メギ



クサボケ



ハナイカタ
右は雄木
左は雌木





キフシ



アオキ



ヤマブキ



オオバヤシャブシ雌花



シュウニヒトエ



キラソウ



ムラサキサギコケ



ホウチャクソウ



ヤマネコノメソウ
黒いところには種が
ぎっしり詰まっている



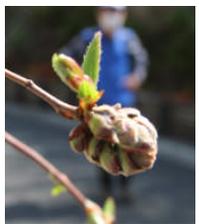
ツボスミレ



キシムシロ



クサイチゴ



イヌシテメフクレフ
シ ソロメフクレダ
ニ寄生する虫がび



アカネスミレ



タチツボスミレ



厚木市準絶滅危惧種
キシタトゲシリアゲムシ

春に咲くカントウタンポ
ポの蜜を吸いにきた蝶



羽化して間もない
キアゲハ



春だけ現れる
ツマキチヨウ雄



クロハネシロヒゲナガガ



シラカシの芽の根元に産み付けられたムラサキシシミ
の卵 左上は十二月に見られた越冬中の成虫



コナラの若葉上のオオトビモンシャチ
ホコ幼虫 右下は11月に見られた成虫

センサーカメラがとらえた画像

前々号に続きけもの画像はほとんど撮れませんでした。

公園内の大規模な伐採作業が獣たちの生活に大きな影響を与えたことが想像できます。でもそれだけではないかも知れません。いままで多くの獣が記録された場所で人の立ち入りが多く見られています。

あつぎこどもの森公園らしさとは何か、設立当初の思いに立ち返って考えて見たいものです。そこで今回は過去の画像を掲載します。

あつぎこどもの森公園 ギャラリー



ニホンジカ♂ 2019.10



キツネ 2020.04



タヌキ 2020.04



アナグマ 2020.03



ニホンザルの子
2018.06



イノシシ 2019.06

こどもの森ガイドウォーク（自然観察）原則毎月第3土曜日

ガイドウォークはコロナの蔓延期間中定員20名にしています。原則事前申し込み制で、定員に空きがある場合は当日参加もできます。会員に限らず誰でも申し込みます。

管理棟集合 参加無料どなたでも参加できます。 開始時間要確認

4月16日	スミレの秘密	10月15日	秋の花
5月21日	キアシドクガ 次回	11月19日	木の実・草の実・キノコ
	一手すりの上のドラマ	12月17日	生き物の冬越し
6月18日	木に咲く花	2023年	
7月16日	樹液の酒場	1月21日	冬の野鳥
8月20日	水辺の生き物	2月25日	冬芽とコケ
9月17日	谷戸のシダ	3月18日	春の兆し

水辺の生き物調査隊（申し込み制 年間メンバー固定）

- 4月10日 こどもの森公園と水生生物について
- 5月 8日 両生類～カエル・イモリについて ← 次回
- 6月12日 ホタルについて
- 7月10日 水生カメムシについて
- 8月21日 トンボについて
- 9月23日 河川調査について
- 10月 2日 外来生物について
- 10月16日 水生コウチュウについて 七沢遠足
- 11月13日 ホトケドジョウについて
- 12月11日 冬の生き物の過ごし方
- 1月 9日 落ち葉かき・カブトムシ増やし
- 2月12日 トンボの幼虫を絵に描こう
- 3月12日 ヤマアカガエルについて

新型コロナウイルス
の蔓延状況
により中止
の場合が
あります。

植物モニタリング

原則毎月第2金曜日の9:30から 決まったコースを歩いて出現する植物を記録します。植物を覚えたい方により機会です。会員対象

草木染め勉強会

園内にある植物を使って草木染めをいろいろ試してみようという会です。毎月第3金曜日午前中。 会員対象です。(入会はいつでも受付けています)

いきものガイド

東京農大学生による生き物調べお手伝い 第1, 第3日曜13時～